

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： ( ) 技術基準の見直し 【 】 技術基準の見直し 】

## 地すべり鋼管杭設計の見直しによりコスト縮減

工事名：平成15年度 善徳抑止工工事

概要：(従来)

普通強度杭 (SM490) + 溶接継手

(新)

高強度杭 (SM570) + 機械式継手

### 効果

高強度地すべり鋼管杭 (SM570) 使用の材料強度向上 (1.2倍) で、鋼板厚の薄化・杭の軽量化 (30%減) によるコスト縮減が可能となった。

機械式継手の採用により施工性の向上が図れた。

鋼管杭工事費を、77百万円から66百万円に縮減。

(縮減額 11百万円、縮減率 約14%)

### 使用杭別の経済性比較

普通強度杭 (SM490) 508 t=20mm	杭総重量	108t
	杭単価	185千円/t
	杭材料総額	
高強度杭 (SM570) 500 t=14mm	杭総重量	71t (66%)
	杭単価	203千円/t (110%)
	杭材料総額	(72%)

### 継手形式別の施工性比較 [対象数量43箇所]

	溶接継手	機械式継手	
		ネジ式継手	ソケット式継手
接合時間	111分/箇所	30分/箇所	15分/箇所
全体時間	80時間	22時間	11時間
		27%	14%



溶接継手



機械式継手